

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年8月9日 (2018.8.9)

【公表番号】特表2017-529958(P2017-529958A)
 【公表日】平成29年10月12日 (2017.10.12)
 【年通号数】公開・登録公報2017-039
 【出願番号】特願2017-518072(P2017-518072)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 17/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 17/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月27日 (2018.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブラシヘッドを持つ歯ブラシを動作させる方法であって、前記歯ブラシが、第 1 の長手方向軸を規定し、前記ブラシヘッドが、第 2 の長手方向軸に沿って延在している複数の毛を持ち、前記方法は、

歯ブラシを動作させるステップと、

前記第 1 の長手方向軸及び前記第 2 の長手方向軸に対して第 1 の角度で前記ブラシヘッドによってブラッシング表面に付与される第 1 の力を示す第 1 の情報と、前記第 1 の長手方向軸及び前記第 2 の長手方向軸に対して前記第 1 の角度とは異なる第 2 の角度で前記ブラシヘッドによって前記ブラッシング表面に付与される第 2 の力を示す第 2 の情報と、を生成するステップと、

を有し、

前記複数の毛の各々が、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直な方向において延在し、前記第 1 の力が、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直且つ前記第 2 の長手方向軸に対して実質的に平行な方向にあるとともに、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直でない角度 θ_1 であり、前記第 1 の情報が、 F_1 であり、前記第 2 の情報が、 F_2 であり、

前記方法が、

$F_1 / (F_1 + F_2 / \cos \theta_1)$ に等しい比を 1 又は複数の所定の閾値と比較することによって、前記歯ブラシの動作中、前記ブラッシング表面に対する前記ブラシヘッドの現在のブラッシング角度が、前記 1 又は複数の所定の閾値よりも上か下かを決定するステップと、

前記歯ブラシの前記現在のブラッシング角度の知覚可能なフィードバックをユーザに供給するステップと、

を有する、方法。

【請求項 2】

ブラシヘッドを持つ歯ブラシを動作させる方法であって、前記歯ブラシが、第 1 の長手方向軸を規定し、前記ブラシヘッドが、第 2 の長手方向軸に沿って延在している複数の毛を持ち、前記方法は、

歯ブラシを動作させるステップと、

前記第 1 の長手方向軸及び前記第 2 の長手方向軸に対して第 1 の角度で前記ブラシヘッドによってブラッシング表面に付与される第 1 の力を示す第 1 の情報と、前記第 1 の長手方向軸及び前記第 2 の長手方向軸に対して前記第 1 の角度とは異なる第 2 の角度で前記ブラシヘッドによって前記ブラッシング表面に付与される第 2 の力を示す第 2 の情報と、を生成するステップと、
を有し、

前記複数の毛の各々が、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直な方向において延在し、前記第 1 の力が、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直且つ前記第 2 の長手方向軸に対して実質的に平行な方向にあり、前記第 2 の力が、前記第 2 の長手方向軸に対して実質的に垂直な方向にあり、前記第 2 の力が、前記第 1 の長手方向軸に対して実質的に垂直でない角度 θ_2 であり、前記第 1 の情報が、 F_1 であり、前記第 2 の情報が、 F_2 であり、

前記方法が、

$F_1 / (F_1 + F_2 / \sin \theta_2)$ に等しい比を 1 又は複数の所定の閾値と比較することによって、前記歯ブラシの動作中、前記ブラッシング表面に対する前記ブラシヘッドの現在のブラッシング角度が、前記 1 又は複数の所定の閾値よりも上か下かを決定するステップと、

前記歯ブラシの前記現在のブラッシング角度の知覚可能なフィードバックをユーザに供給するステップと、
を有する、方法。